

こんにちは
日本共産党です

来年8月～

子どもの医療費助成が拡大

「子どもが安心して暮らせる社会」―国民的な願い実現に、市民の世論と運動が、いま政治を大きく動かしています。

『入院に限り、小学校6年生まで』 市民の世論と運動が市政を動かした

11月25日、市議会協議会で、「来年8月から、小学校入学前までの医療費助成制度を、入院に限り小学校6年生まで拡大



日本共産党流山市議団

高野 とも 7155-1683

いぬい紳一郎 7159-2773

小田桐たかし 7154-0878

徳増 きよ子 7148-6871

市議団事務所

TEL/FAX 7157-6140

したい」「所得制限なし、窓口200円負担の現行制度を維持する」と市長から報告がありました。

財政負担は、年間750万円を予定しています。

翌26日、市長と党市議

団の懇談で、高野とも団

長は、千葉県が制度拡大

とあわせて、所得制限の

設定、窓口負担を増やし

たことを対峙し、「現行

制度を維持し、対象拡大

は重要。市民からの要望

も強く、わが党も署名運

動を広げてきた。市民要

求がまた一つ実現した」

と評価するとともに、さ

らに通院までの拡大を強

く要請しました。

市民の世論と運動 がキツカケ

制度拡充にいたるキツカケは、市民の世論と運動の広がりです。

昨年の市長選・市議選

で、「こんなこと初めて」という多くのパパやママ、市民が、全候補者アンケートを実施。結果をインターネットで公表しました。また署名運動や議会への陳情書提出など、これま

『通院』まで拡大できるよう さらに、世論と運動を広げよう

入院・通院も含めた、子どもの医療費助成拡充の市当局試算

対象の拡大範囲 (現在、小学校入学前まで)	市負担総額 (千円)	追加負担額 (千円)
小学校3年生まで拡充	211,724	76,293
小学校6年生まで拡充	275,640	140,209
中学校3年生まで拡充	346,784	211,353

※1市負担総額＝現行制度の負担額＋追加負担額
※2条件：所得制限なし、窓口200円負担

20日、市当局は子どもの医療費助成を拡充した場合の試算を発表しました(表)。

でにない市民の世論と運動が広がりました。日本共産党は一貫して、更なる拡充を要求し、市議会でも、制度拡充を超党派で要求する流れが広がっていました。

現行制度を維持し、入院・通院を小学校6年生まで拡充した場合、約1億4千万円、中学3年生までなら約2億1千万円の予算の上乗せが必要です。つまり、市財政(19年度決算ベース、年366億円)を家庭で例えれば、月収25万円なら955円(缶ジュース8本分)のやりくりで、通院も含め、6年生まで拡大できるのです。引き続き、世論と運動を広げ、更なる制度拡充を勝ち取りましょう。

国の制度創設も

一方で、医療費助成制度は自治体独自の取り組みのため、財政負担の限界や自治体格差が大きな

問題となります。

少子化が進む中で、子育て支援は自治体任せでは困ります。国が責任を持つべきです。

国として制度を創設し、子どものいのちと健康に責任を持つとともに、自治体の財政負担を軽減すべきです。

国で小学校入学前まで制度を実施するための予算は、1500億円が必要。2兆円の『定額給付金』から考えれば、すぐにでもできるのではないのでしょうか。また、今年度も2隻を購入予定しているイージス艦(1隻1400億円)をやめれば、実現できるのではないのでしょうか。税金の使い方が問われています。

日本共産党発行

しんぶん 赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月800円